

分野	授業科目	単位（時間）	開講年次	講師名
専門分野	地域・在宅看護援助論Ⅲ (終末期の看護)	1 (30)	2年後期	外部講師 (実務経験あり)
科目目標	人生の終末を迎える人々について理解し、必要な援助について学ぶ。病との共生、および安らかな人生の終焉にむけての支援について学び、生死に対する考えを深める。			
授業内容	1. 緩和ケア概論、日本のがん医療 緩和ケアの歴史と現状（緩和ケアの歩み） 終末期・緩和ケアとは（緩和ケア病棟の実際）  2. 緩和ケアにおける倫理的課題 患者の意思決定を支える援助  3. チーム医療・在宅（退院）支援  4. がん化学療法を受ける患者の看護  5. 死の受容過程と患者・家族ケア  6. 症状緩和：消化器症状・呼吸困難  7. 症状緩和：がん性疼痛（事例検討）  8. 症状緩和：全身倦怠感（がん悪液質）、精神症状  9. 終末期にある患者の特徴・理解 全人的苦痛・スピリチュアルケア  10. 事例検討①：全人的苦痛をアセスメント  11. 事例検討②：発表まとめ  12. 在宅における終末期ケア (疼痛コントロール、服薬管理)  14. 試験・まとめ	時間	教育方法	担当者
		22	講義 グループ ワーク	外部講師
		6	講義	外部講師
	14. 試験・まとめ	2	試験・講義	外部講師
テキスト/参考書/視聴覚/その他の教材	系統看護学講座 別巻 緩和ケア(医学書院) プリント類 系統看護学講座 地域・在宅看護論1・2(医学書院)			
成績評価の方法	筆記試験100点及びレポート、出席状況等で総合的に評価する。			
備考				